

河辺地域(南部地域)バス利用実態調査(平成18年度実施)の概要について

この調査は平成18年度にまとめられたもので、調査対象は秋田市南部地域を走行している路線バスの岩見三内線、岩見三内日赤線、仁井田四ツ小屋線、雄和線、雄和日赤線、ユーグルとし、10月27日～11月2日、11月6日～11月12日に調査員が路線バスに乗り込み、乗降人数をカウントして実態を調査したものである。

また、平成19年1月26日から2月2日まで雄和地区、河辺地区の住民に世帯アンケート調査を行い、バス利用の実態や公共交通代替案に対する意識、公共交通に対する意識などを把握したものである。

調査の主な概要は以下のとおりである。

1 利用実態について

(1) 岩見三内線

- ・ 平日の上りは2および3便の通勤利用と4便の通院利用の乗客数が多いが、それ以外は4人以下と少なく、下りでは朝夜の利用客が少ない
- ・ 休日の上りで午前の便では岩見三内方面での利用客も多く、午後の便では利用客が少なく、下りでは3便での和田駅までの利用者と和田駅からの利用者が多いが、そのほかの利用客は少ない
- ・ 平日の殿瀨線の上りでは4便だけが利用されているが利用客は平均3人以下と少なく、下りの利用客は少ない
- ・ 休日の上りでは2便のみが利用され、下りでは3便のみが利用されているが、利用客は少ない
- ・ 岩見ダム線の平日上下ともに3便のみが利用され、利用客は少ない
- ・ 休日はほとんど利用者がいない

(2) 岩見三内(日赤病院)線

- ・ 上下ともに利用客は少ない

2 利用実態調査により導き出した公共交通代替案について

御所野ショッピングセンターを乗り継ぎ拠点とし、秋田駅方面へ向かう乗客をまとめて秋田駅東口へ運行することとする。

岩見三内以遠においてはデマンド交通を導入するものとする。

この代替案を組み合わせ、効率性を高めて、地域住民の移動手段を確保するものとする。

3 代替案に対する利用意向について

御所野ショッピングセンターを乗り継ぐことに対するバス利用者の利用意向は利用したいとした人が約2割、ほかの手段がなければ利用するとした人が約5割であった。デマンド交通への利用者の利用意向は利用したいとした人が1割強、他の手段がなければ利用するとした人が5割強であった。

4 地域の公共交通に対する住民意識について

公共交通の維持に関する住民意識としては、約 6 割の人が「できるだけ費用をかけずに、地域で効率的なバスの運行方法を考えていくべき」としており、地域交通に関する話し合いへの参加意識が半数近くあった。

このため、むすびでは、住民との話し合いの場をつくり、住民の意向を踏まえた具体的な運行形態やコストなどについて協議、検討する必要があるものとされた。

なお、調査の詳細については交通政策室ＨＰに掲載している。

http://www.city.akita.akita.jp/city/ur/im/05kotu/mytown_nannbu.htm